

### (5) 津波浸水想定域及び最大浸水深分布

1cm 以上浸水する面積は、過去地震最大モデルの津波で約 2,200ha、理論上最大想定モデルの津波では最大約 2,600ha になると予測された。このうち、人が移動しにくくなると言われている 30cm 以上の浸水深となるのが、過去地震最大モデルの津波で約 2,000ha、理論上最大想定モデルの津波では最大約 2,400ha になると予測された。市域全体に占める浸水面積比は、過去地震最大モデルの津波で 8.3%、理論上最大想定モデルの津波では 10.0% となった。

ここで示された浸水域や浸水深は、これ以上最大にはならないというものではなく、実際の地形の形状や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生し、あるいは局所的に浸水深がさらに大きくなる可能性を含むものである。

浸水域面積（浸水深 1cm 以上）

<5mメッシュ単位で算定>

波源モデル	浸水深1cm以上		浸水深30cm以上		浸水深1m以上		浸水深2m以上		浸水深5m以上		浸水深10m以上		
	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	浸水面積 (ha)	浸水面積比 (%)	
過去地震 最大モデル	2,158	8.3	1,961	7.5	1,483	5.7	543	2.1	2	0.0	0	0.0	
理論上 最大想定モデル	ケース①	2,588	9.9	2,394	9.2	1,821	7.0	853	3.3	88	0.3	25	0.1
	ケース⑥	2,600	9.9	2,408	9.2	1,843	7.1	865	3.3	97	0.4	41	0.2
	ケース⑦	2,298	8.8	2,086	8.0	1,557	6.0	626	2.4	5	0.0	0	0.0
	ケース⑨	2,230	8.5	2,021	7.7	1,494	5.7	544	2.1	47	0.2	4	0.0
	最大浸水深	2,610	10.0	2,417	9.2	1,850	7.1	879	3.4	97	0.4	41	0.2

※市域全体に占める浸水面積比＝浸水面積（ha）÷豊橋市面積（26,135ha）とした

### 三河湾側

豊橋平野の低地部では、広い範囲にわたって浸水する。特に、豊橋平野はゼロメートル地帯が広がっており、津波が収まった後も、潮位による浸水が継続するため、長期にわたって湛水することが予想される。

最大浸水深は、過去地震最大モデルで 3.9m、理論上最大想定モデルでは最大 4.3m の予測結果となった。明海地区や神野西地区は、津波による浸水は発生しない。これは、明海地区や神野西地区のような埋立地は、地盤高が高く造成されているためである。

なお、津波による浸水が始まるのは、地震発災から最短で 77 分以上経過した後であるが、地震動及び地盤の液状化によって堤防が沈下する地域は、地震発災とほぼ同時に潮位によって浸水が始まる可能性がある。

最大浸水深（三河湾側）

<5mメッシュ単位で算定>

波源モデル	過去地震最大モデル (m)	理論上最大想定モデル				
		ケース① (m)	ケース⑥ (m)	ケース⑦ (m)	ケース⑨ (m)	最大値 (m)
三河湾側	3.9	4.3	4.3	3.9	3.7	4.3

※最大浸水深は、地殻変動後の地盤面から想定津波水位までの高さの最大値を言う。

## 太平洋側

太平洋側の最大浸水深は、過去地震最大モデルで 6.8m、理論上最大想定モデルでは最大 17.8m の予測結果となり、三河湾側の予測結果と比較して非常に大きい。

しかしながら、太平洋側の表浜海岸は、背後に高さ 40～70m の海食崖を形成しており、漁業用の施設のほか、通信用施設などが存在するものの、都市的な土地利用や農地、人家等はほとんどないため、目立った建物被害は発生しないものと予測される。

最大浸水深（太平洋側）

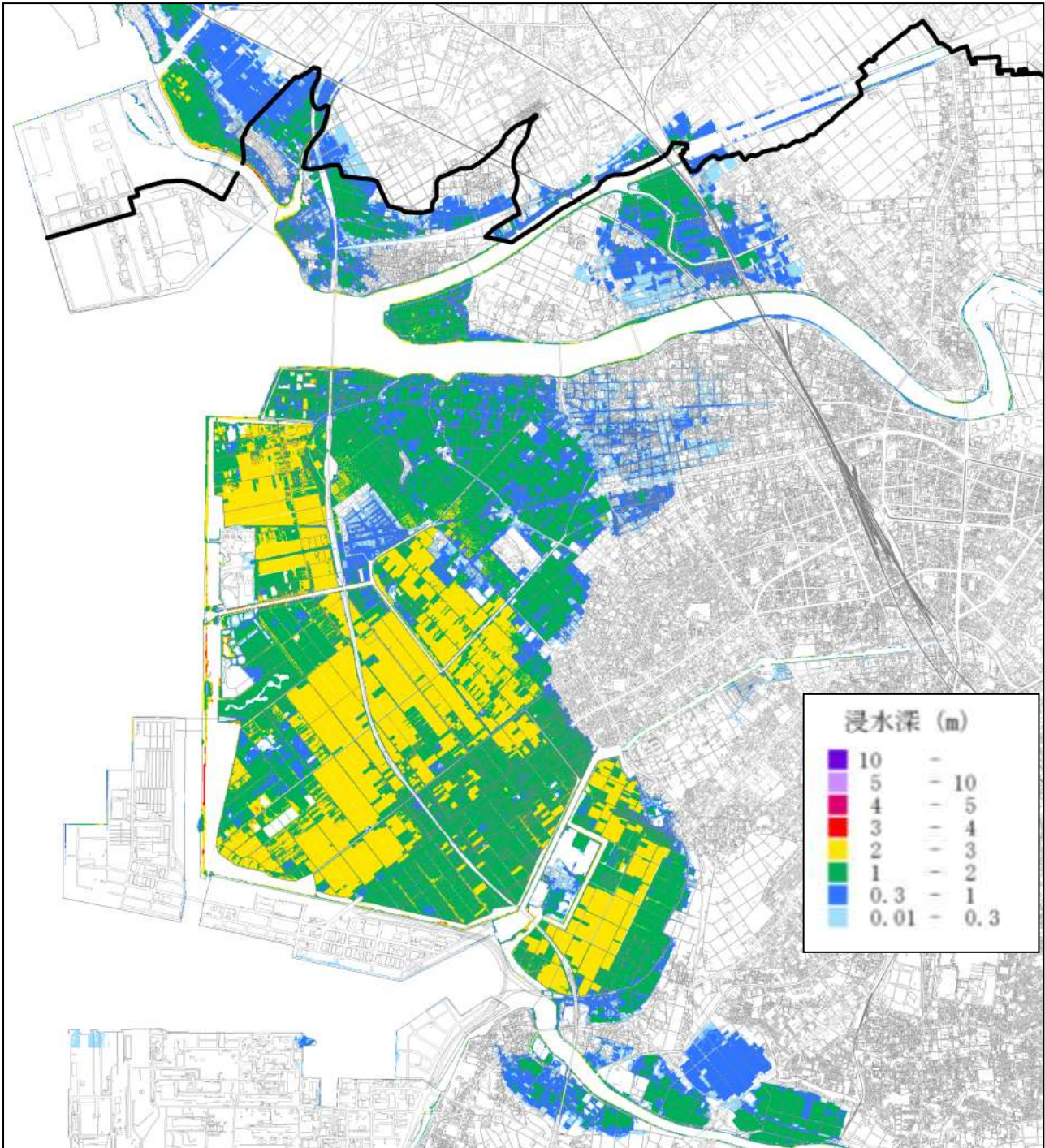
<5mメッシュ単位で算定>

波源モデル	過去地震最大モデル (m)	理論上最大想定モデル				
		ケース① (m)	ケース⑥ (m)	ケース⑦ (m)	ケース⑨ (m)	最大値 (m)
太平洋側	6.8	15.1	17.8	7.0	14.1	17.8

※最大浸水深は、地殻変動後の地盤面から想定津波水位までの高さの最大値を言う。

## 過去地震最大モデル

<5mメッシュ単位で算定>

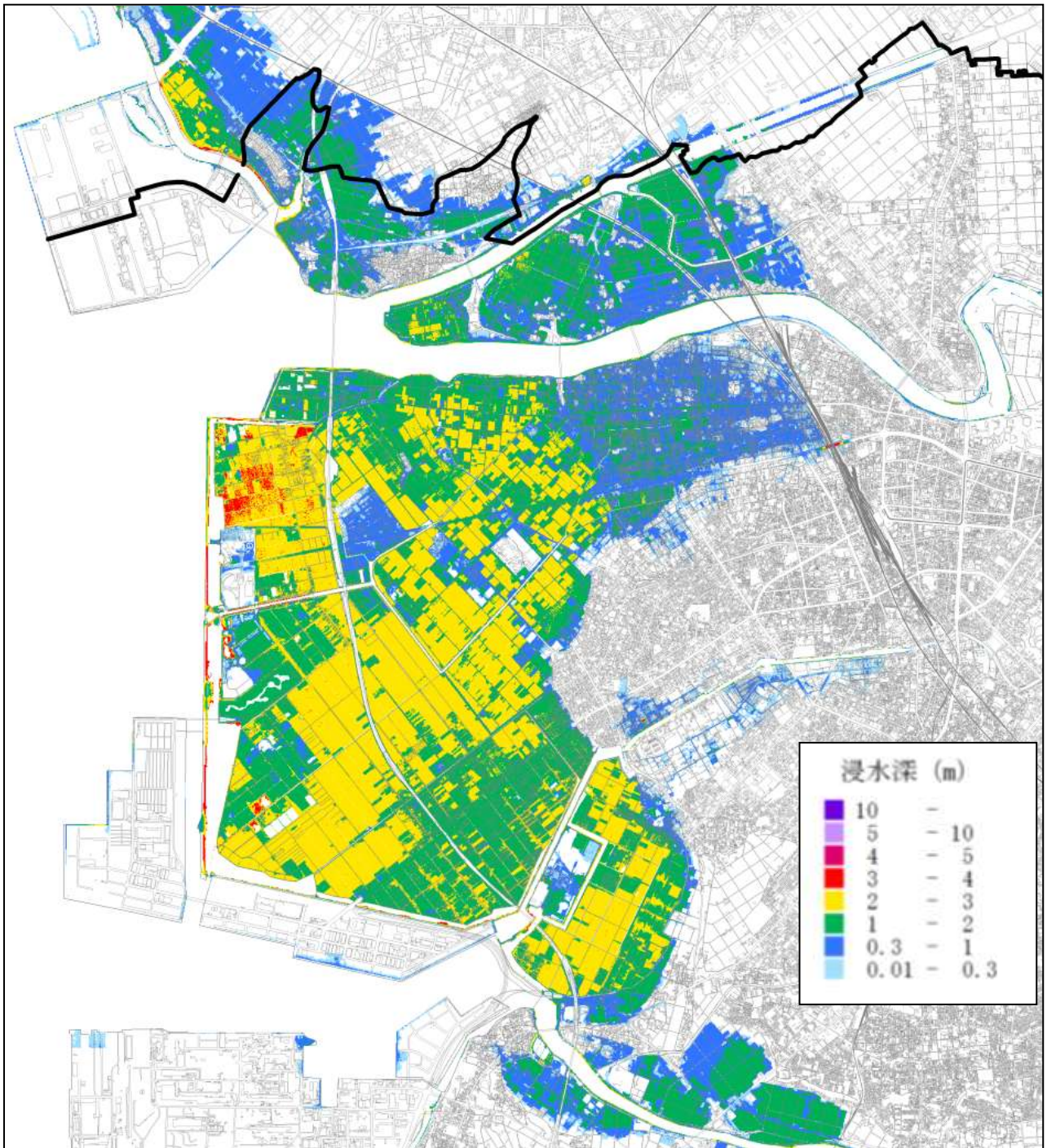


過去地震最大モデルの津波浸水想定域及び最大浸水深分布（三河湾側：北部）

※堤防条件：東海・東南海地震（愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査 H15.3）に対し耐震性を有している箇所および液状化危険度が小さい箇所については50%沈下、それ以外は75%沈下（いずれも越流したら破堤）

理論上最大想定モデル

<5mメッシュ単位で算定>

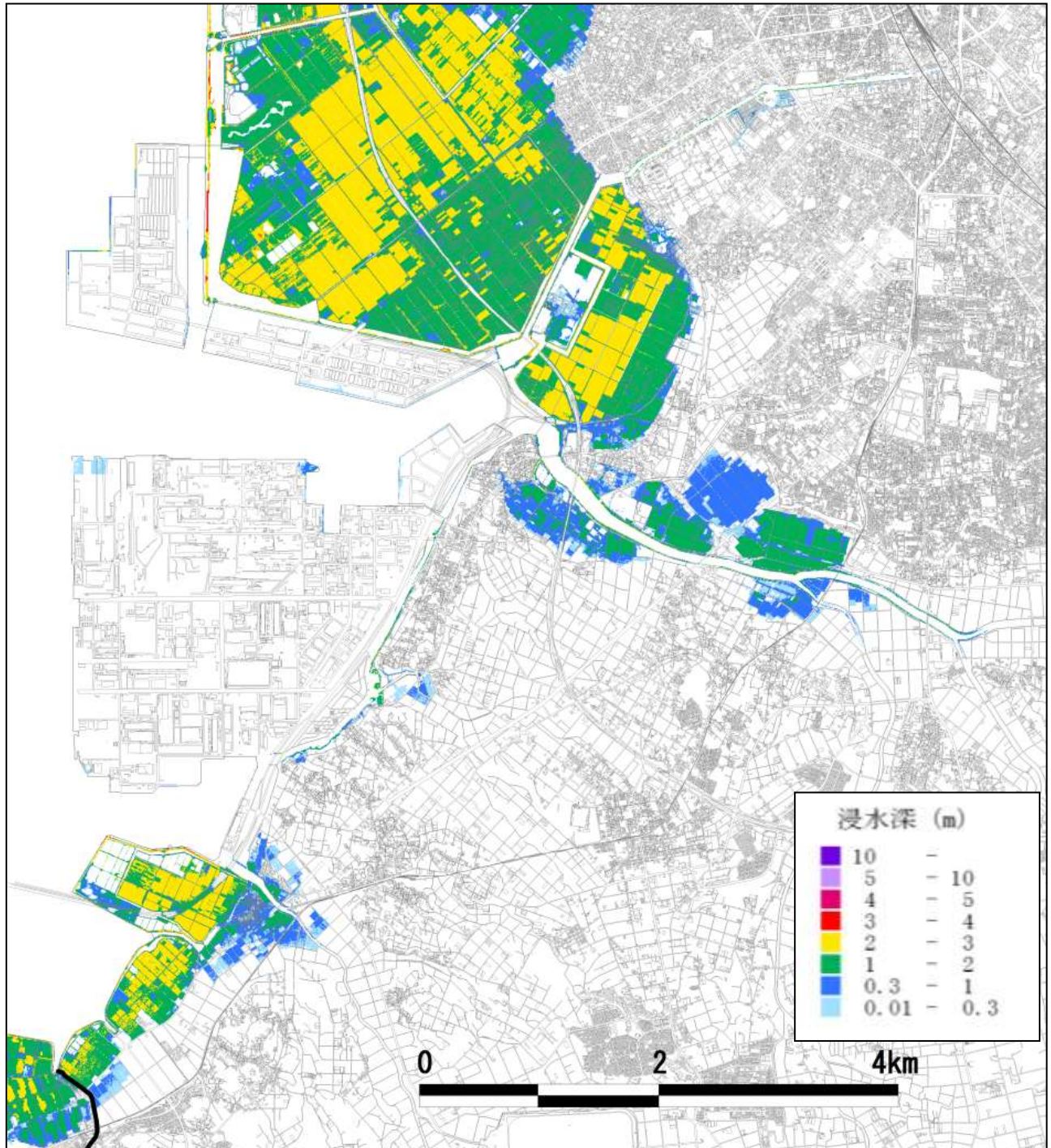


理論上最大想定モデル（津波ケース①⑥⑦⑨の重ね合わせ）の  
津波浸水想定域及び最大浸水深分布（三河湾側：北部）

※堤防条件：地震発生と同時に、盛土構造物（土堰堤）は、75%沈下し越流によって破壊。コンクリート構造物は倒壊。

過去地震最大モデル

<5mメッシュ単位で算定>

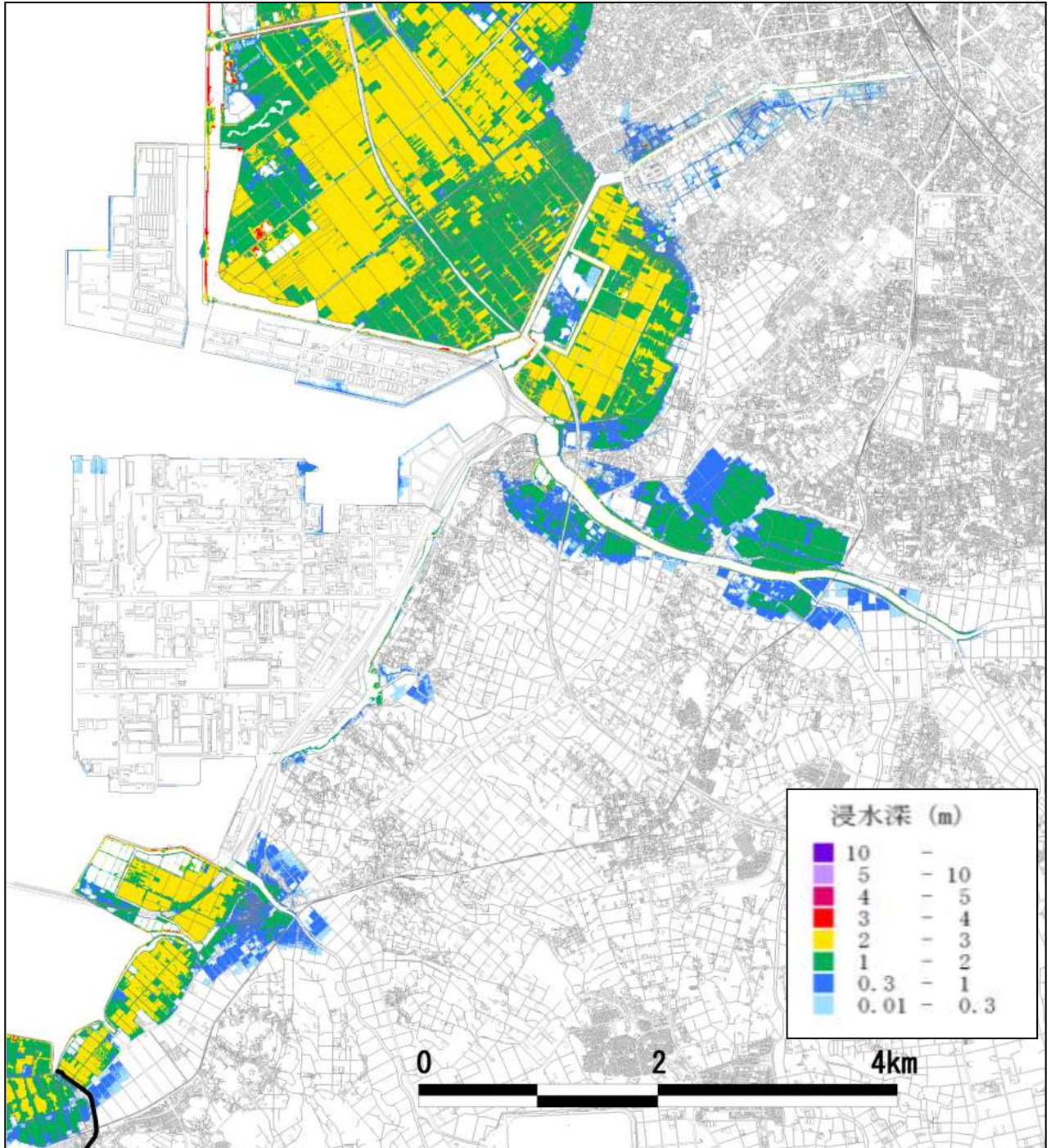


過去地震最大モデルの津波浸水想定域及び最大浸水深分布（三河湾側：南部）

※堤防条件：東海・東南海地震（愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査 H15.3）に対し耐震性を有している箇所および液状化危険度が小さい箇所については50%沈下、それ以外は75%沈下（いずれも越流したら破堤）

理論上最大想定モデル

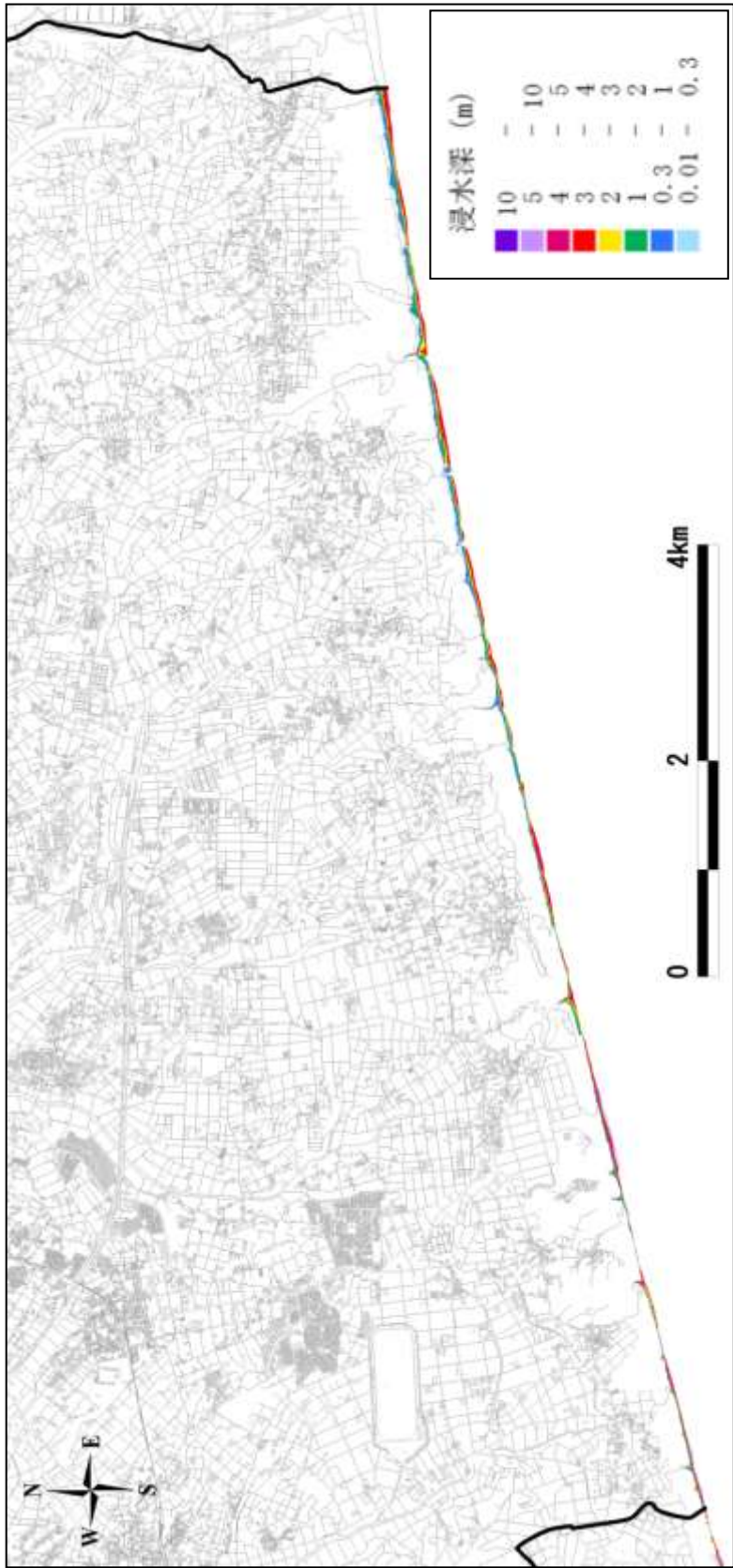
<5mメッシュ単位で算定>



理論上最大想定モデル（津波ケース①⑥⑦⑨の重ね合わせ）の  
津波浸水想定域及び最大浸水深分布（三河湾側：南部）

※堤防条件：地震発生と同時に、盛土構造物（土堰堤）は、75%沈下し越流によって破壊。コンクリート構造物は倒壊。

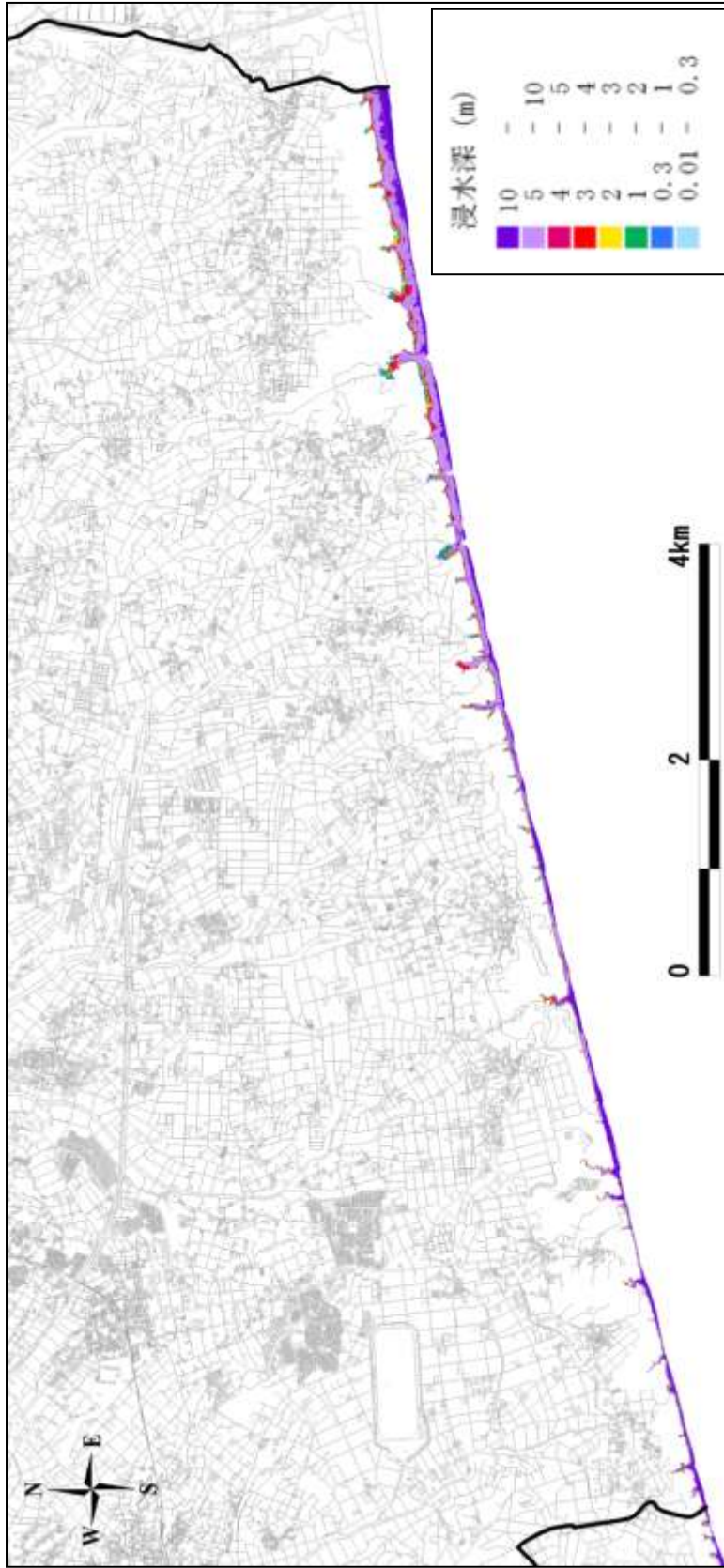
<5mメッシュ単位で算定>



過去地震最大モデルの津波浸水想定域及び最大浸水深分布（太平洋側）



<5mメッシュ単位で算定>



理論上最大想定モデル（津波ケース①⑥⑦⑨の重ね合わせ）の津波浸水想定域及び最大浸水深分布（太平洋側）